

# ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点が「第2回防災技術イノベーション研究会 Robust BOSAIシンポジウム」を開催

ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点は、10月1日（火）、北海道大学大学院工学研究院フロンティア応用科学研究棟鈴木章ホールにおいて、「第2回防災技術イノベーション研究会 Robust BOSAIシンポジウム」を開催しました。

近年、北海道の農林水産業のフィールドは、従来の発想では対応できないような自然災害に脅かされており、「新たなステージ」に進みつつある自然災害に対する防災力強化、フィールドのロバスト化（堅牢化）は喫緊の課題です。この現状を踏まえ、北海道大学とロバスト農林水産工学科学技術先導研究会は、Society 5.0を目指した高度な技術やノウハウの共有、新たな研究開発、防災教育と人材育成までを実現するため、昨年度「ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム」を立ち上げ、現場ニーズに基づく次世代農林水産工学の技術開発を進めています。

今回のシンポジウムでは、北海道胆振東部地震から学ぶ複合災害対策に焦点を当て、産学官のこれまでの調査で得た知見について解説すると共に、昨

年度設立した「ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム」の活動成果報告も交え、今後の課題や発展について議論しました。

本シンポジウムは、瀬戸口剛工学研究院長の開会挨拶で始まり、宮坂尚市朗厚真町長による「平成30年北海道胆振東部地震からの教訓」と題した、震災被害や当時の苦勞、復興の現状についての特別講演が行われました。次に、小林利道株式会社大林組設計本部プロジェクト設計部長による「森林と共に生きる街『LOOP50』建設構想」と題した基調講演が行われ、木材を用いた循環型都市の将来像が提示されました。続いて、古川泰人株式会社MIERUNE取締役による「“Open”であること・・・OpenData・OpenScience・

OpenSource・OpenGovernment」と題した基調講演が行われ、インタラクティブな情報の重要性が示されました。

後半は、パネルディスカッションの話題提供として、渡部要一工学研究院教授、中嶋唯貴工学研究院准助教、佐藤久工学研究院教授、田部豊工学研究院教授の4名から講演があり、地震から一年間追跡した調査内容や、震災時に必要な工学技術などについて紹介されました。続いて、泉典洋工学研究院教授がコーディネーターを務め、宮坂氏、小林氏、古川氏と話題提供者、計8名によるパネルディスカッションが行われました。会場からの質問・意見を集約するシステム「Slide」の利用により、参加者とパネリ



開会挨拶を行う瀬戸口工学研究院長



特別講演を行う宮坂厚真町長



基調講演を行う株式会社大林組設計本部プロジェクト設計部 小林部長



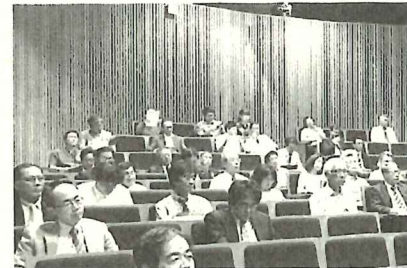
基調講演を行う株式会社MIERUNE 古川取締役



コーディネーターを務める泉工学研究院教授



パネルディスカッションの様子



会場の様子



閉会挨拶を行う岡田広域複合災害研究センター特任教授

ストの間で双方向に活発な意見交換が行われました。

最後に、岡田成幸広域複合災害研究センター特任教授の開会挨拶により、本シンポジウムは盛会にて終了しまし

た。

今回のシンポジウムには、行政機関、農林水産業の関連団体、民間企業などから約100名が参加し、多くの方々から「興味深いシンポジウム」との意

見を頂くとともに、防災への関心の高さがうかがえました。

(工学研究院)

# 保健科学研究院公開講座「ようこそ!ヘルスサイエンスの世界へ」を開催

保健科学研究院では、「ようこそ!ヘルスサイエンスの世界へ」というテーマのもと公開講座を開催しました。今年も3名の講師陣が各々専門とする研究を紹介し、62名の参加がありました。今年、特に次代の保健医療を担う若手の講師による講演を企画し、盛会のうちに終えることができました。

千見寺貴子准教授が「細胞老化と健康寿命」と題して、老化した細胞がどのように健康寿命に影響するのか、どのような治療法が開発されているのかについて、最新の知見をもとに講演しました。

続いて、宮崎太輔准教授が「神経細胞における情報の送り手と受け手：シナプスはどのように作られ、維持されるのか?」と題して、まだ解明されて

いないことが多いシナプスの作製・維持におけるメカニズムについて、遺伝子工学的、分子生物学的手法をマウスに用いた実験研究をもとに講演しました。

最後に、杉森博行准教授が「医用画像における人工知能～現状と未来～」と題して、人工知能技術の現状と医療画像における人工知能技術の応用について、研究室における取り組みなどを

交えながら講演しました。

参加者からは大変好評を博し、様々な質問があり、各講師はわかりやすく丁寧に解説を行いました。

今後も毎年、その時代を反映するようなテーマや、興味を持って参加いただけるようなテーマを設定して、公開講座を開催していく予定です。

(保健科学院・保健科学研究院)



齋藤 健研究院長からの挨拶



講師による講演の様子